2027年３月期　中間決算短信［日本基準］(非連結)

2026年11月13日

上場会社名　　アクセリア株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　271A　　ＵＲＬ　https://www.accelia.net/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）牧野　顕道
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理部部長　　（氏名）下　一彦　　ＴＥＬ　03（5211）7750

中間発行者情報提出予定日　2026年12月15日　　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期中間期の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	534	△10.0	△ 82	―	△ 84	―	△ 84	―
2026年３月期中間期	594	12.5	△ 27	―	△ 28	―	△ 23	―

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△ 121.92	―
2026年３月期中間期	△ 34.54	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	806	293	36.4	424.10
2026年３月期	687	375	54.6	546.04

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　293百万円　　2026年３月期　　375百万円

２．配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	0.00	0.00
2027年３月期	0.00		
2027年３月期（予想）		―	―

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．2027年３月期の予想配当額は未定であります。

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,414	15.8	△ 46	-	△ 53	-	△ 53	-	△ 78.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．中間財務諸表及び主な注記（４）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	834,000株	2026年３月期	834,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	141,300株	2026年３月期	146,500株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	691,083株	2026年３月期中間期	687,500株

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記…… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）における我が国経済は、物価上昇や為替変動の影響に加え、海外経済の動向や地政学的リスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社におきましては、Cloudflare社が提供するCDNサービスに当社エンジニアによる運用サポートを付帯したCDNサービスである「Solution-CDN」と、新たに7月からサービスリリースしたCloudflareを基盤としたマネージドセキュリティサービスである「Solution Gate Core」をサービスラインナップに加えて事業拡大に取り組むとともに、既存サービスの収益性改善を進めてまいりましたが、「Solution Gate Core」の販売開始時期の遅延の影響により以下の結果となりました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高は534,755千円（前年同期比10.0%減）、営業損失は82,177千円（前年同期は27,634千円の損失）、経常損失は84,109千円（前年同期は28,187千円の損失）、中間純損失は84,256千円（前年同期は23,743千円の損失）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より126,583千円増加し720,839千円となりました。これは主に現金及び預金で146,375千円、前払費用で35,076千円増加したものの、売掛金で54,146千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より8,216千円減少し85,280千円となりました。これは主に負荷分散サービス用設備等で設備の償却を行い、固定資産全体で11,674千円の減少があったものの、同設備の長期保守契約等により長期前払費用が3,457千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末より118,367千円増加し806,120千円となりました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末より243,476千円増加し410,892千円となりました。これは主に短期借入金で200,000千円、前受金で54,047千円増加したものの、未払消費税で8,677千円、未払金で3,837千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より43,478千円減少し101,456千円となりました。これは主に長期借入金で1年内返済予定の長期借入金への振替により39,672千円、退職給付引当金で3,806千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末より199,998千円増加し512,349千円となりました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末より81,630千円減少し293,770千円となりました。これは中間純損失の計上による84,256千円と、新株予約権の行使に伴い自己株式を交付したことにより、自己株式で3,138千円減少したこと、およびその他利益剰余金で512千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ146,375千円増加し480,031千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は16,580千円（前年同期は5,387千円の使用）となりました。これは主に売上債権が54,146千円の減少、前受金が54,047千円の増加があった一方で、前払費用が34,949千円の増加及び税引前中間純損失84,111千円を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は２千円（前年同期は13,792千円の使用）となりました。減少要因は固定資産の除却による支出２千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は162,957千円（前年同期は4,408千円の獲得）となりました。これは短期借入金の

増額で200,000千円、自己株式の処分による収入で2,626千円の増加があった一方で、長期借入金の返済による支出39,672千円があったことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年５月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後もCloudflare関連サービスである「Solution-CDN」と「Solution Gate Core」の拡大及び既存サービスの収益性改善に取り組んでまいります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	333,655	480,031
売掛金	166,139	111,992
リース投資資産	1,731	792
仕掛品	1,305	2,182
前払費用	85,005	120,082
その他	6,417	5,758
流動資産合計	594,255	720,839
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,093	5,107
工具、器具及び備品（純額）	40,436	31,577
有形固定資産合計	46,530	36,684
無形固定資産	11,848	10,019
投資その他の資産	35,118	38,576
固定資産合計	93,497	85,280
資産合計	687,753	806,120
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,236	43,808
短期借入金	－	200,000
1年内返済予定の長期借入金	79,344	79,344
未払法人税等	－	145
その他	46,836	87,595
流動負債合計	167,416	410,892
固定負債		
長期借入金	93,439	53,767
退職給付引当金	51,325	47,519
繰延税金負債	170	170
固定負債合計	144,934	101,456
負債合計	312,351	512,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	239,611	239,611
利益剰余金	124,200	39,431
自己株式	△ 88,410	△ 85,271
株主資本合計	375,401	293,770
純資産合計	375,401	293,770
負債純資産合計	687,753	806,120

（２）中間損益計算書
（中間期累計期間）

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	594,127	534,755
売上原価	454,664	456,072
売上総利益	139,463	78,682
販売費及び一般管理費	167,098	160,860
営業損失（△）	△ 27,634	△ 82,177
営業外収益		
受取利息	176	359
受取奨励金	542	－
雑収入	25	17
営業外収益合計	743	377
営業外費用		
支払利息	1,296	2,310
営業外費用合計	1,296	2,310
経常損失（△）	△ 28,187	△ 84,109
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	－	2
特別損失合計	0	2
税引前中間純損失（△）	△ 28,187	△ 84,111
法人税、住民税及び事業税	△ 4,443	145
法人税等合計	△ 4,443	145
中間純損失（△）	△ 23,743	△ 84,256

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△ 28,187	△ 84,111
減価償却費	9,966	11,877
固定資産除却損	－	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,409	△ 3,806
受取利息	△ 176	△ 359
支払利息	1,296	2,310
固定資産売却損	0	－
売上債権の増減額（△は増加）	85,152	54,146
リース投資資産の増減額（△は増加）	1,079	939
棚卸資産の増減額（△は増加）	△ 1,594	△ 877
前払費用の増減額（△は増加）	△ 59,157	△ 34,949
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 18,665	2,572
未払金の増減額（△は減少）	1,990	△ 12,713
前受金の増減額（△は減少）	6,905	54,047
その他	△ 7,628	△ 5,104
小計	△ 6,609	△ 16,027
利息の受取額	176	359
利息の支払額	△ 1,276	△ 2,441
法人税等の還付額	2,494	1,968
法人税等の支払額	△ 171	△ 440
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,387	△ 16,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 13,793	－
固定資産の除却による支出	－	△ 2
その他	0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,792	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	200,000
長期借入れによる収入	50,000	－
長期借入金の返済による支出	△ 42,154	△ 39,672
配当金の支払額	△ 3,437	－
自己株式の処分による収入	－	2,626
その他	－	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,408	162,957
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 14,771	146,375
現金及び現金同等物の期首残高	416,953	333,655
現金及び現金同等物の中間期末残高	402,181	480,031

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（セグメント情報等の注記）

セグメント情報

当社は、CDN事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。